

決算の状況

I 決算概況

- (1) 平成 24 年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は 2 兆 9,132 億円で、商工労働部の制度融資を再構築に伴い、貸付金元利金収入が減少したこと等により、1,428 億円、率にして 4.67%減少している。
- (2) 一方、歳出決算額は 2 兆 8,931 億円で、商工労働部の制度融資を再構築に伴い貸付金支出が減少したこと等により、1,446 億円、率にして 4.76%減少している。
- (3) 形式収支は、201 億円の黒字を計上し、7 年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、123 億円の黒字となり、前年度に比べ、18 億円増加している。
- (4) 一般会計と特別会計（Ⅱ 3 特別会計参照）の額を合算したのから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、140 億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、24 年度は、府税収入が増加したものの、社会保障事業費等の増加などにより、前年度より 0.2 ポイント上昇し、97.2%となった。

平成23年度及び平成24年度一般会計決算

(単位:億円)

	24年度	23年度	差引	
予 算 現 額	29,683	30,926	△ 1,244	
歳 入 決 算 額 A	29,132	30,560	△ 1,428	
主 な 科 目	府 税	10,696	10,427	268
	法 人 二 税	2,780	2,687	93
	地 方 消 費 税	2,652	2,608	44
	地 方 譲 与 税	1,212	1,172	40
	地 方 特 例 交 付 金	49	99	△ 51
	地 方 交 付 税	2,844	2,973	△ 128
	国 庫 支 出 金	2,418	2,484	△ 66
	繰 入 金	712	960	△ 248
	諸 収 入	5,128	5,972	△ 844
	府 債	3,925	3,881	44
歳 出 決 算 額 B	28,931	30,377	△ 1,446	
主 な 科 目	義 務 的 経 費	11,590	11,956	△ 367
	人 件 費	8,221	8,237	△ 16
	公 債 費	2,917	3,268	△ 351
	扶 助 費	451	451	0
	投 資 的 経 費	1,522	1,775	△ 253
	そ の 他 経 費	15,819	16,646	△ 827
目	補 助 費 等	9,465	9,477	△ 12
	貸 付 金	4,835	5,560	△ 725
形 式 収 支 C=A-B	201	183	18	
翌 年 度 繰 越 財 源 D	79	78	1	
実 質 収 支 C-D	123	105	17	

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源（翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの）